

## やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）

えいごネットの「やさしく読める英語ニュース」の音声ファイルを聞いて、下の空欄の単語を聞き取る練習をしてみましょう。

### Poland gives visa to Belarusian athlete

Poland has given a ( 1 ) visa to a Belarusian athlete at the Tokyo Olympics.

Krystsina Tsimanouskaya had ( 2 ) her coaches on social media, and claims she ( 3 ) “brutal repression” under the Belarusian President. Her managers told the 24-year-old sprinter on Aug. 1 to ( 4 ) her bags and ( 5 ) back home.

At the airport, she used Google Translate to ask police to help her. She was put under the ( 6 ) of the Polish Embassy in Tokyo and arrived ( 7 ) in Poland on Aug. 4.

---

<ヒント>

- (1) ( 1 ) visa で、亡命の際に発行されるビザ（査証）のこと。
- (2) この選手はコーチたちへどのように対応したのだろうか。
- (3) 亡命の理由として最も多いパターン。政府の弾圧にどう感じる？
- (4) 名詞と動詞でよく使われる語。
- (5) これも( 4 )同様、名詞と動詞でよく使われる。
- (6) ここでようやくポーランド側に〇〇された。
- (7) ヒントなし。

## やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）解答編

---

<解答>

- (1) humanitarian 形 人道的な。humanitarian visa 「人道ビザ」
- (2) criticized 動 批判する、批評する。
- (3) suffered 動 苦しむ、不快に感じる、病気になる。
- (4) pack 動 荷物を詰める、詰め込む。pack one's bag で「荷造りをする」。
- (5) head 動 向かう、進む、先頭に立つ。head back home で「故郷に帰る」。
- (6) protection 名 保護。
- (7) safely 副 安全に。

<ニュース解説（英文の和訳ではありません）>

コーチを批判したことで帰国を命じられ、それを拒否していたベラルーシのオリンピック女子陸上、クリスチナ・チマノウスカヤ選手が4日、亡命先となるポーランドに向かうため成田空港から出国した。

ベラルーシは、1991年のソ連崩壊後に独立した国のひとつ。1994年以降、ルカシェンコ大統領が就任。欧米諸国からは「ヨーロッパ最後の独裁者」とも呼ばれ、国内ではたびたび退陣要求のデモも起きている。

チマノウスカヤ選手は、このまま帰国することに生命の危険を感じるとして、羽田空港でベラルーシへの帰国を拒否。ヨーロッパ諸国への亡命を希望し、IOC・国際オリンピック委員会に問題への介入を求めている。

日本では「亡命」という言葉、概念は馴染みがないが、世界各国の状況や、母国を捨てて他国で生きていかざるを得ない人たちの気持ちなどを考える機会としてみてはいかがでしょう。